

山吹の里

角光 嘯堂

(今様)

青葉若葉あおばわかばに風かぜかおり

武蔵むさしの野辺のべの春霞はるがすみ

方便たずえに迷まよう益ます荒男らうおが

狩衣かりぎぬぬらす村時雨むらしぐれ

緑蔭りよくいん青青せいせい晩花ばんかの朝あした

銀鞍ぎんあん鞭むち揚あげて狩競かりくらに到いたる

遠近えんきん路みちに迷まよう山吹やまぶきの里さと

驟雨しゅうう蓑みの借からんと茅屋ぼうおくを敲たたく

七重ななえ八重やえ花はなは咲さけども山吹やまぶきの

実みの一つひとつだになきぞ悲かなしき

一いっし枝花はなを捧ささぐ手弱女たおやめの志こころ 此こ意い何なんぞ解かいせん英雄えいゆうの心こころ